



<http://www.minikuru.net/tnks/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/tutitokaze>

2020.7.25号



親子で畑で遊ぼう！

第4回 番外編 7/19

開催予定日が二週続けて雨になり、残念ながら第4回は中止の決定が下されました。でも、梅雨の晴れ間を生かさなない手はない。青空も顔を見せた7月19日、番外編としてご家族ごとに収穫を楽しみました。

ニンジン葉っぱが多くてふわふわしているものほど大きく育っている証拠。でも今年は雨が多くて収穫が2週間も遅くなったため、葉っぱの大きなニンジンは育ち過ぎ。割れてしまったものが多くてちょっと残念な結果に。でも、美味しそうなおニンジンがこんなにたくさんとれました。



その他にナス、トマト、ニラ、キュウリ、ブルーベリーなど、思い思いに収穫を楽しみました。



毎度のことですが、子どもたちはよく見つけてきます。



- ・ニラ好きのカタツムリの赤ちゃん
- ・トマトを食べ過ぎて赤くなったカブトムシのメス
- ・足音に驚いて飛び出てきたミミズ

ニンジン葉っぱにはキアゲハの幼虫もいました。アゲハチョウは色々な種類がありますが、よく見かけるのがナミアゲハとキアゲハです。キアゲハはその名の通り黄色っぽいのでナミアゲハとすぐに見分けがつかず。ナミアゲハの幼虫はミカン、ユズ、レモンなどの柑橘類の葉を食べ、キアゲハの幼虫はセリ、ニンジン、パセリなどセリ科の野菜の葉を食べます。アゲハチョウは卵を産むとき、前脚で葉っぱをトントンと叩いて味見して、幼虫が食べられる葉っぱかどうかを確認してから卵を産みます。これをドラミングと言い、前脚の先端には“ふ節”と呼ばれる毛状の突起物があるため、人の舌の様に植物に含まれる化合物を認識することができるのです。なんとも不思議ですね。どちらの幼虫も葉を食べつくしてしまうほど食欲旺盛なので農家にとっては害虫です。畑でアゲハチョウの幼虫がいれば、その畑は農薬を使っていない証拠です。

さて、次回はスイカ割りです。この日までに梅雨明けするよね？ 持ち物などの詳細は、メールにて。

親子で畑で遊ぼう！ 第5回

8月1日(土) 10:00~12:00

スイカ割り&野菜の収穫と手入れ

持ち物：帽子、手袋、長靴、タオル、飲み物
ハサミ、Myバック、目隠しほか

畑をみんなで楽しもう！

今年の梅雨は雨が多く日照不足も相まって、例年より雑草の勢いが感じられません。な～んて書いちゃいましたが、第三農場は手が回らず畑は草の海になっています。関東の梅雨明けの平年は7月21日だそうです。今年は遅れそうですね。気象庁のホームページには昭和26年から梅雨入り梅雨明け日が掲載されています。唯一1993年(平成5年)だけは梅雨明けが特定されていませんが、一番遅かったのが2003年8月2日です。こえどファームが開園したのが2002年夏、翌年は本格的な活動が始まっているのですが、梅雨の記憶は全くなく、写真を見直しても思い出せませんでした…。折角なのでその年の7月の様子をご紹介します。



紅花摘み



初めての麦刈り
唐箕がなかったので
棒で叩いて脱穀しました

当時はお花畑と野菜が半々

畑でハーブを育てよう！

雨が降ったり止んだりの空模様の中、藍の叩き染めを小屋の中で行いました。種から育てた藍が可愛らしく成長しました。その葉を各自持ち寄った小さなトートバッグやストール、ナプキン、Tシャツ等に染めました。手順は、布の裏に色が移らないように板を敷き、表に葉を置きラップをし、ラバーハンマーで叩きます。すると藍の染料が移り緑色に！暫くそのままにし染料を定着させ、石鹸をつけ水洗いして出来上がりです。驚いたことに葉を裏にして叩いたものは葉脈が鮮明に浮き出ました。葉を表にして叩いたものは葉の型がしっかり形づけられています。同じ綿素材でも目の細かいもの、粗いものでも仕上がりが違い、自然のものは同じものが何一つ無いのだなと感じました。まだまだやってみたいという気持ちで次回の藍染の打ち合わせをし、チンキやお花、鉢を頂き素敵な時間が過ごせました。(永井)



畑でハーブを育てよう！

8月1日(土) 10:00~12:00

藍の生葉染め&管理作業

持ち物：帽子、手袋、長靴、マスク、飲み物

8月のこえどファーム

日	月	火	水	木	金	土
						1 親子で畑で遊ぼう 畑のハーブを育てよう
2	3	4 畑をみんなで楽しもう	5	6 	7 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	8 順延日
9	10 	11 畑をみんなで楽しもう	12	13	14	15
16	17	18 畑をみんなで楽しもう	19	20	21 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	22
23/30	24/31	25 畑をみんなで楽しもう	26	27	28 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	29

◆編集なんてしてないけど編集後記◆

何年振りだろう？開園当時のアルバムを開いてみた。それにしてもみんな若かったな～。17年も経てばそりゃ変わるわな～。変わらないのは畑は草だらけってとこか。(ま)

発行 特定非営利活動法人 土と風の舎

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 6-14-10

TEL.049-248-9485 FAX.049-248-9486

E-mail.tutitokaze@arion.ocn.ne.jp